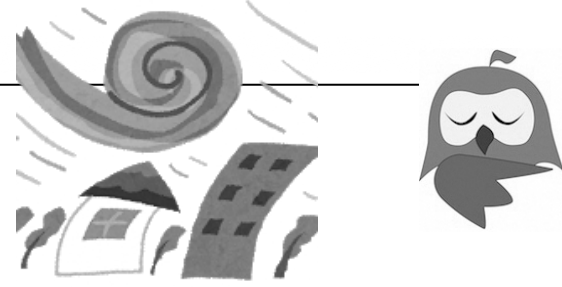




台風対策を考えました



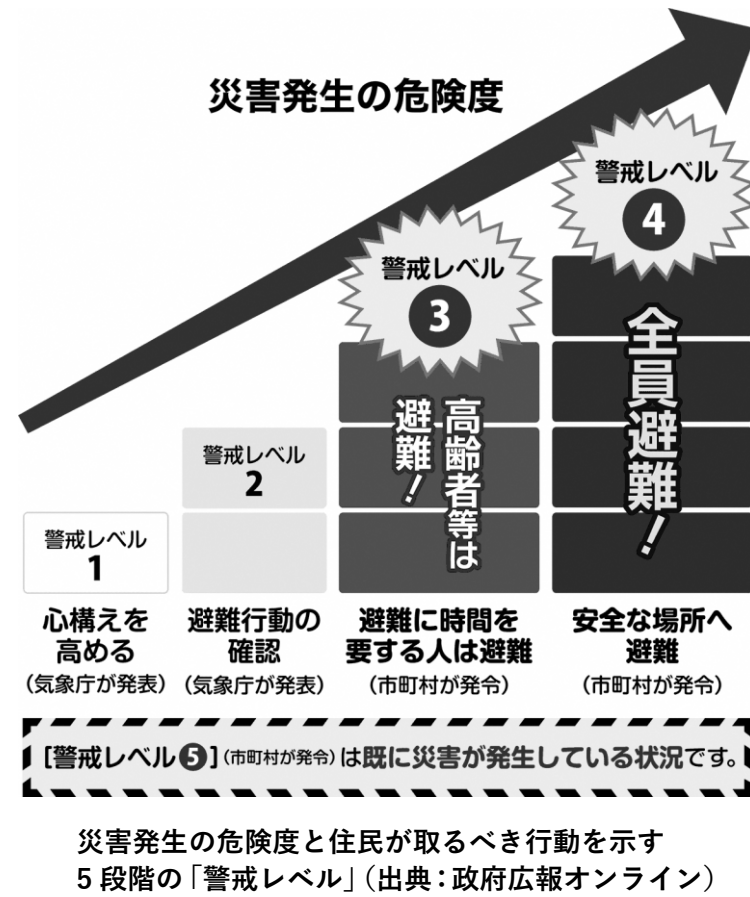
令和元年に発生した台風15号は、関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で9月9日に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害を出しました。千葉県の大規模停電においては、約2000本の損壊電柱の原因の多くが倒木・飛来物等による二次被害の影響であることが判明しています。

続いて10月に上陸した台風19号は、東日本から東北地方などを中心に広い範囲で観測史上1位の記録を更新する大雨となり、豊島区でも、10月12日9時に「警戒レベル3」が発令されました。

第一地区協議会では、①台風15号・19号の被害事例や、②自宅での備え、③本年3月から始まった「5段階の警戒レベル」を用いた避難に関する情報(右図参照)について、④豊島区の台風19号の警報状況、⑤上池袋の被害状況(特になし)などを、確認しました。

また、台風の備えである「屋根や壁のひび割れ、ずれ、はがれなどを修繕すること」「避難、停電、断水に備えて備蓄すること」などは、地震の備えにもつながることを話し合いました。

そこで来年度は、現在、行われている千川下水道管を増強する幹線工事の見学会を開催し、風水害の備えについても地域住民で学ぶことにしました。あわせて、台風の被害イメージを視点としたまち歩きにより、飛来物となりそうなもの等、まちな点検を行っていく予定です。



👉ご連絡お待ちしております!

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒171-8422 東京都豊島区南池袋2-45-1
豊島区都市整備部 地域まちづくり課 TEL 3981-1464

上池袋地区

通学路の防災まち歩きを行いました

上池袋第2・3・4地区まちづくり協議会では、令和元年10月6日と16日にかけて、旧文成小学校(池袋第一小学校建替え期間の仮校舎)への通学路の防災まち歩きを行いました。

まち歩きでは、首都直下地震を想定して、通学路上の災害時の危険や防災上の資源を点検しました。

また、北池袋駅踏切の横断と地下通路の通行状況について、登校時の現状を把握するため、平日朝に人、自転車、車両の通行量の調査を行いました。

詳しくは、次頁をご覧ください。



手分けして、まち歩きや通行量調査を行う様子

台風対策を考えました

上池袋第1地区まちづくり協議会では、令和元年台風15号、19号を踏まえて、台風対策について考えました。

上池袋一丁目においても、今は暗渠化している谷端川付近の地盤が低く、過去、マンホール蓋が浮き上がり水が溢れる等の内水氾濫が起きています。

今後、まちづくりで出来ることについて検討しました。

詳しくは、裏ページをご覧ください。



広場用地を取得しました

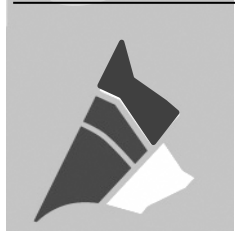


区では、現在、上池袋地区の不燃建築物への建替えに対する様々な支援を実施するとともに、地区計画などを決定し、個々の建替え更新を促進しています。

合わせて、道路の拡幅整備や公園・広場の整備を行うことで、地域の防災性の向上に取り組んでいます。

今年度、上池袋一丁目の「ひだまり防災広場」の向かい側に広場整備のための用地を取得しました。

詳しくは、次ページをご覧ください。



旧文成小学校への 通学路の防災まち歩きを行いました！

協議会では、首都直下地震を想定して、通学路上の地震の時の危険や、防災上の資源（右参照）を点検しました。

通学路を各地区で分担して歩き、気づいた点を撮影し、マップに記録しました。

まち歩き後に出た意見としては、

- 建替えが進んでおり、とくに倒れて危険と感じる建物やブロック塀などは見られなかった。
- 補助82号線沿いは、路上駐輪や放置ゴミなどが多く、避難の邪魔になるのではないかと。
- 旧文成小への通学路の一部は路側帯（歩くエリア）が狭く、路上駐車・駐輪が多い。
- 通学路以外を通ることが心配。

などがありました。

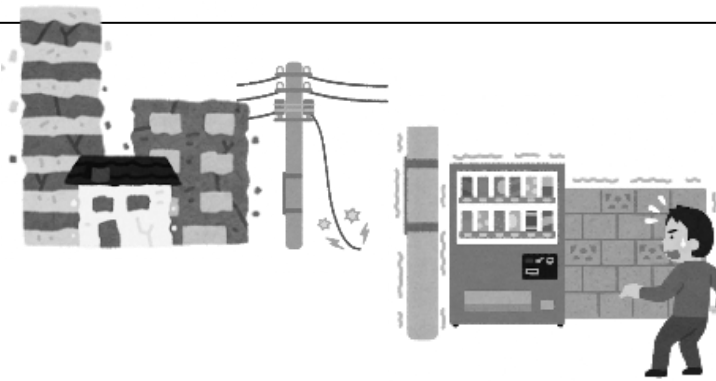
地震時の危険について、児童に気をつけて欲しいことを、右のようにまとめました。

また、北池袋駅踏切の横断と地下通路の通行状況についても、登校時の現状を把握するため、平日7時40分から7時50分の10分間を北池袋駅踏切の両側に立ち、通行量を調査しました。その結果は以下の通りです。

- ①踏切を渡る人：おおよそ15人
- ②踏切を渡る自転車：9台
- ③踏切を渡る車：3台
- ④地下通路を通る人：135人
- ⑤地下通路を通る自転車：8台

協議会委員からは、思ったより通行量が少なかった、との意見がありました。

今後は、地域の皆さまに見て頂けるように、通学路の防災まち歩きマップをまとめる予定です。



まち歩きマップをまとめる協議会の様子

地震が起きたときには・・・

○危険なものから離れる！

○公園など、危険なものがない空き地に逃げる！

地震の時に危険なもの

【倒れてくるもの】

老朽空き家、ブロック塀、電柱

【落ちてくるもの】

塀の上のプランター、看板、街灯、電線

【逃げるときに妨げになるもの】

路上駐輪、立て看板、放置ゴミ、狭い歩道

(赤十字防災教材小学生用を加工)

防災上の資源（一部抜粋）

- 【空き地】公園、児童遊園、駐車場
- 【救出救護】病院、ドラッグストア、AED、担架等の資機材
- 【消火】消火栓、防火水槽、街頭消火器
- 【情報伝達】掲示板、公衆電話



上池袋さくら公園前の「豊島区総合防災案内板」

■まちづくりのご紹介

本年度、区は上池袋一丁目にある「ひだまり防災広場」の向かい側の交差点角地を、広場整備のための用地として取得しました。

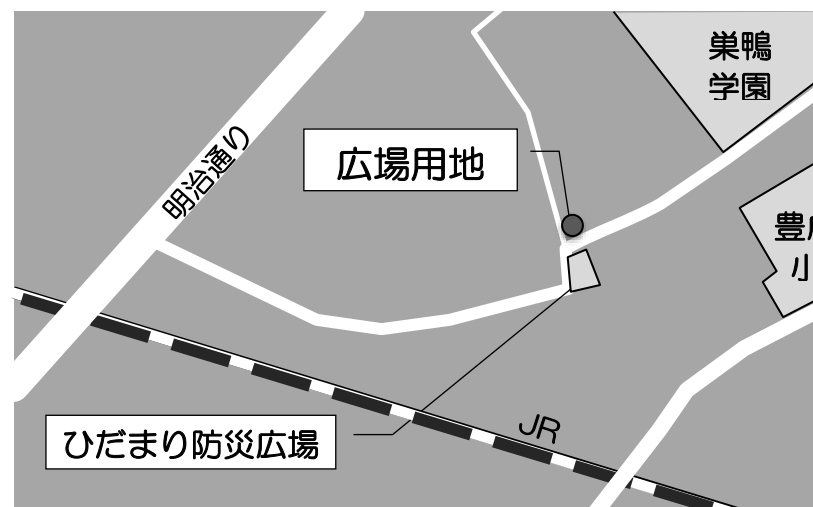
現在は、隅切りがつくられ見通しが良くなっています。今後、整備の方針を検討する予定です。

【ご存知ですか？】

「ひだまり防災広場」は、まちづくり協議会が地域の皆さまの意見を踏まえ、消防活動拠点として整備方法を区に提案し、平成20年度に整備されたものです。広場には防火水槽100㎡が配備されています。



ひだまり防災広場 面積：約166㎡



広場用地：上池袋1-16-1 面積：約110㎡